



人口男子 1,759  
 女子 1,896  
 計 3,655  
 世帯数 1,358  
 平成9年12月1日現在

館 長 岸 岡 俊 憲  
 行 公 民 館  
 責 任 者 岸 岡 俊 憲  
 刷 刷 刷  
 印 印 印  
 グ ラ ン ド 印 刷 (株)

# 「母の教え」を守る

不動公民館長 岸岡俊憲



天下わけめの戦い（一六〇〇）年といわれた関が原の合戦も徳川家康の勝利に終わりました。（若し石田三成が勝っていたら彼の政策から幕藩体制はなかったともいわれますが？）戦いにやぶれた三成は、

家康によってとらえられ、京都に護送されてこの日（慶長五年十月一日）六条河原で処刑されることになりました。

刑場にむかう途中、のどがかわいた三成は湯茶をほしいと申し出ましたが、三

成をにくんでいた家康はこれをゆるさず、逆にほし柿をあたえました。三成は、「柿はいらない。私は小さいときから病弱でたんの病気をわずらっている。この病気に悪いからだ。それにこのことは母のいましめとして幼少の頃から守ってきたことである。」

この誇りを忘れてはならない。「最後の最後まで名を借し、恥を知っていやしいことはしないという我が國武士道の至誠観が心の底に流れていたと思われます。それより私は成人された皆さんに訴えたいことは、三成のいった終わりの言葉『これは母の教えである。』と言ったことです。のどが大変かわいている、はずかしめのため湯茶のかわりにほし柿を与えられたとき、持病のことを思い幼少から病弱だった自分、その自分をいつも心配してくれた母のおもかけをまぶたに浮かべた三成。そして母の思いに感謝して教えを心からはなさなかつたかたい精神を、私達は忘れてはなりません。皆さんは今日立派に成人

され、大人の仲間にはいることが出来ました。その間多くの人に支えられて今日の姿がある自分を思いだして下さい。とりわけ今一度あらためて父母や家族の恩を静かに考えるときに、今日の成人の日を契機として世の中につくせる人となってはばたいて下さい。

## 徳島市民憲章

わが徳島市は、美しい眉山の緑と清らかな吉野川の流に恵まれ、輝かしい伝統と限りない発展性をもった都市です。

わたしたちは、徳島市民であることに誇りと責任をもち、郷土の繁栄とおたがいの幸福をきずくために、みんなで力を合わせ、みんなで行うべき生活のよりどころとして、この憲章を定めます。

- 1 わたしたちは、まごころをもって助け合い、すべての人に親切にしましょう。
- 1 わたしたちは、健康で仕事に励み、明るく楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 わたしたちは、協同生活のきまりを守り、平和で安全な社会をきずきましょう。
- 1 わたしたちは、自然や公共物をたいせつにし、美しい町づくりに努めましょう。
- 1 わたしたちは、豊かな教養を身につけ、すぐれた文化を創造しましょう。

昭和43年10月1日制定

この話から私は次のようなことを感じました。普通の人であれば数時間後に殺されるのが決まっているのに、身を惜しんでも無意味なことである。それよりもどのかわきを、たとえほし柿にせよ食べて一時うおすのがましであると考えらるでしょう。然し三成の心情はそんなものではなかったのです。

「とらわれても自分は西軍の総大将として戦って来た。

## 新たな一歩をめざして

不動中学校

本校は昭和二十二年四月に徳島県名東郡新居中学校として創立され、本年で五十周年を迎えました。創立以来、地域の方々の

学校に寄せる熱い想いと温かい支援に支えられ、その結果として今日の学校があることを改めて感じずにはいられません。



この記念すべき本年、本校の歴史に新たな輝かしい一ページを加えることができました。

その一つは、何と云っても新校舎の落成です。まさに地域の皆さんの不動学園にかける熱い想いの結晶の賜物です。

このすばらしい環境のほか、本校生徒もわたしたちの期待に応えてくれました。

昨年の九月三日に開かれた置市記念徳島市中学校陸上競技大会において、フィールドの部では優勝、総合成績でも三位という快挙をなしてあげてくれました。

本校生徒数八十八名という小規模校が、このような成績をあげたことは、まさに特筆に値するものです。

一方、学校生活においても、生徒会活動が活発になり、生徒の自主性もしいに高まってきました。子ども会の廃品回収や地域の清掃活動などのボランティア活動にも積極的にかかわってくれる生徒も多くなってきました。

このように地域に育てられ、地域とともに育っていかうとする姿勢が随所に見られるようになってきたことは大変喜ばしいことです。が、まだまだ多くの課題が

残されています。

教育をめぐる様々な論議がされる昨今ですが、なかでも学校・地域・家庭の連携の重要性が指摘されています。

地域社会や家庭の教育力に支えられてこそ、学校の教育力が生き生きとして力を発揮し、それが子どもたちの生きる力となっていくのだと思います。

私たち職員も、本校生徒にとって本当に必要な生きる力とは何なのか、しっかりと見極める努力を続け、子どもたちの「自分さがしの旅」を援助する役割を果たさねばと決意を新たにしています。

今後一層のご協力を賜りますようお願い致します。



### 不動中学生の活躍記録

- 一九九七年度(平成九年度)
- 市中学校人権作文コンクール
- 最優秀賞 寺山 潤
- 優秀賞 中山智弘
- 全日本通信陸上競技大会
- 男子走幅跳二位中山智弘
- 女子砲丸投三位正木美加
- 男子棒高跳三位大野開成
- 〃 五位出崎浩司
- 四国中学校総合体育大会
- 男子三種B一位中山智弘
- 男子棒高跳五位大野開成
- 女子砲丸投五位正木美加

### 西署管内防犯球技大会

- バスケットボール女子 準優勝
- 全国学校合奏コンクール
- 中学校の部徳島県大会 優良賞
- MBS「子ども音楽コンクール」
- 合奏Iの部 優秀賞
- 重奏の部 優良賞
- 市中学校陸上競技大会
- Aブロック 優勝
- フィールドの部 優勝
- 総合 三位
- 非行防止少年の主張中学校生徒弁論大会

### 優秀 中谷亮太

- ジュニアオリンピック陸上競技大会(全国)
- 男子C走幅跳 第二位(6m65)
- 中山智弘
- 県中学新人陸上競技大会
- 男子棒高跳一位大野開成
- 男子百m 一位中山智弘
- 男子走幅跳一位中山智弘
- 男子棒高跳二位出崎浩司
- 男子砲丸投二位山尾 怜
- 男子砲丸投三位久次米順
- 年金広報作品コンクール
- ポスター優秀 井原崇博
- サッカー県優秀選手

### 上原大史

- 市明るい選挙啓発ポスター作品コンクール
- 銀賞 近藤理絵
- ※紙面の都合上、主な受賞のみを紹介させて頂きました。まだまだたくさんのお賞生がいますが、「不動心」等の機会に報告させていただきます。



## 不動っ子のがんばり

### 不動小学校

十月二十五日、徳島市青少年健全育成協議会主催の「第8回綱引き大会」が吉野川運動公園で行われ、わが不動青少年健全育成会からも男女各二十名の小学五・六年生と大人十三名が参加した。(出場チーム数 男 一二、女 一五)

県の平均以下であるだけに期待薄での出場であった。ところがいざふたを開けてみるとどうだろう。男子はアツという間に三連勝。女子も途中一敗はしたものの男子とともに見事に予選通過をした。過去七年間で四勝しかしていなかったのにきょうの予選だけで七勝もした。一戦一戦の子どものがんばりが結果に結びついているのが例年であった。今年も、小学生の運動能力・体力ともに

男子は一勝して第三位に入賞し、残念のなかにも喜びを隠し切れない様子にエールをおくりたい。

男子チームの応援を得て女子はまず一勝して三位以内を確保。続く準決勝は一回目を引き負け、もう後がない。不安がよぎり、選手も無口になる。場所の交替と応援団の声援の混雑した中で一対一に持ち込むことができた。こうなることこのものだ。勝ちペースに乗ったのか一気呵成。歓喜の中で決勝戦へ進出した。波に乗った子どもたちの自信とはなんと怖いものか。体つきを見ただけでもひけ



を取りそうな相手を一蹴。待望の優勝! やればできる。がんばればできるということをもっと体験した子どもたち、不動チームに拍手を贈りたい。

# 体協だより

不動体育協会長 藤 本 護

新春の候、皆様方にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、不動体協の活動にご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私が平成三年から前会長故下塚民夫氏の任期中に会長代理をし、平成四年総会において会長を引き受けまして六年の歳月が過ぎました。

この六年間には、市民総参加「秋の大運動会」で平成三年に栄え有る「優勝」を初め、三位、四位、五位に入賞し、見事な成績を収めました。これ一重に町民の皆様にご協力をいただいたおかげだと思っておりますし、また、私の生涯の「宝物」として喜んでいる次第です。今後、当体協としまして

は、多くの人が楽しく参加できる各スポーツを幅広く取り入れた大会を実施していく予定ですので、皆様のご協力をお願い致します。

当体協の発展の為に町内でご指導して下さる不動学園、各種団体また陰でご支援下さる方々、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸をお祈り致します。



## 成人おめでとう

### 平成九年度 不動町新成人名簿

#### ◎男子

- |       |       |
|-------|-------|
| 犬伏 俊之 | 岩山 和幸 |
| 上原強太郎 | 木内 論  |
| 久次米 龍 | 中口 琢也 |
| 日野 貴史 | 日野 忠信 |
| 二ツ橋和行 | 増井 健人 |
| 美濃 克行 | 森崎 泰史 |
| ◎女子   |       |
| 大寺 祐美 | 笠井 和恵 |
| 加藤 知映 | 久次米彩香 |
| 寺澤知亜紀 | 中野祐美子 |
| 仲村 一光 | 西林 由恵 |

#### ◎女子

- |       |       |
|-------|-------|
| 長谷川智巳 | 原田 郁子 |
| 板東 宏美 | 藤原美由紀 |
| 箕村 幸子 | 三木 章恵 |
| 計     | 26名   |



### 徳島市公民館大会

十一月七日  
郷土文化会館

#### 表彰者

- |       |       |
|-------|-------|
| 高齢者教室 | 山本彰一様 |
| 女性学級  | 池野静子様 |
- 開会行事の表彰式では、不動町から右の二名の方が、表彰されました。

学習発表会では、本町を代表して八名の方々が舞踊「長良川艶歌」を晴れの舞台で披露しました。出演順が30番で最終に近かったのですが、満員の会場からは好評の拍手をいただきました。



発表会終了後、豪華景品が当たる抽選会が行われ、本町の参加者の中から五人の当選者を出しました。皆様方の御協力に心から感謝しております。

### 全国公民館研究集会に参加して

不動公民館主事 佐々木 功

平成九年十月二十三〜二十四日の二日間、富山市において開催されました。徳島市から42名参加の一員として視野を広げられました。テーマは「新時代に果たす公民館の役割は」で、国民

一人一人が生涯にわたって潤いと生きがいのある充実した生活を送ることができるようになるためには、公民館はどうあるべきかについて討議しました。私の参加した分科会では福島

県・石川県の発表がありましたが、出された意見をまとめてみると、「地域住民が健康で、明るく、楽しく、住みよい町を作ること」が公民館活動の重要な役割であり、そのためにも「地域住民の方々の声を聞き、明るく楽しい住みよい町づくりに努めよう。」ということでした。

みなさん、公民館活動についての意見がありましたら、どうぞお出しく下さい。ご協力の程よろしくおねがいします。



## 福祉推進委員名簿

	氏 名	住 所
1	加 納 幸 枝	不動本町1丁目3-1
2	佐々木 テル子	不動本町2丁目802
3	鉄 谷 高 子	不動西町1丁目660-4
4	池 野 静 子	不動西町1丁目296-10
5	久 米 和 子	不動西町3丁目777
6	井 原 豊 子	不動西町3丁目829-2
7	山 田 香 苗	不動北町1丁目8
8	久次米 カメコ	不動北町2丁目104
9	仁 木 藤 子	不動北町2丁目174
10	上 原 元 子	不動東町2丁目957-2
11	板 東 廣 子	不動東町1丁目21
12	大 西 明 美	不動東町2丁目1517-2
13	上 原 和 子	不動東町3丁目880-3
14	井 原 ヒサ子	不動東町3丁目880-3
15	山 田 義 子	不動東町4丁目912-2
16	高 里 チエコ	不動東町4丁目1626
17	元 川 洋 子	不動東町4丁目1578-1
18	宮 崎 千代子	不動東町5丁目725
19	山 本 治 文	不動東町5丁目406
20	中 谷 ミツ子	不動東町5丁目404-2

### 鮎喰川左岸

### 堤防除草作業

恒例になった全町あげての堤防除草作業を十二月二日(火)から七日(日)にかけて実施しました。

二日は不動小学校五・六年児童が、五日は不動中学校の全生徒が、それぞれ空き缶やビン類、ペットボトル等を拾って、町の美化のために汗を流しました。

(日)は曇天で、おかげで作業を延期することもなく予定通り以上の成果をあげることができました。

四日間で延べ人数約二百二十人位の方々の努力で、西は八幡神社南から東は旧弁天橋北詰まで、見違えるように美しくなりました。あとは、この堤防の美しさがいつまでも続くように



私たちひとりひとりが、町の美化に努めたいし、通行する方々にもご協力をぜひお願いしたいものです。お世話になりました。

### 社協だより

第25回 徳島市社会福祉大会開催される

平成九年二月二十八日徳島市中央公民館にて、民生児童委員、市社協、ボランティア、市民等、社会福祉関係者約三〇〇人の参加のもと、第二五回徳島市社会福祉大会が盛大に開催された。

この大会で表彰された方々は次の通りです。

○名誉大会長・大会長表彰  
状贈呈者  
(1)地区社協功労者  
山本彰一

(2)社会福祉事業功労者  
・ボランティア活動功労者  
高里チエコ  
元川 洋子  
宮崎千代子

福祉推進委員発足  
福祉問題について、問題の早期発見と地域のネットワークづくりを目ざして、平成九年度から福祉推進委

員の制度がスタートしました。担当民生委員さんと連携を密にして活動いたします。委員の方々は次の通りです。

